

○事業所名	放課後等デイサービス おもちゃ箱こがねい			
○保護者評価実施期間	2025年 1月16日		～	2025年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 1月16日		～	2025年 2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの主体的行動が自信となり、自己肯定感が高まる場となるよう心掛けている。 自らの強みと弱みを自覚し、何事にも柔軟な姿勢で前向きに臨むタフな人間形成を図る。	子どもの考えを尊重し、些細なことにも能動的行動が自信につながる機会を多く作っている。 子どもが考えたことが仮に非効率であっても、大人が先回りして正解をすぐに提示せず、上手く行かない事に本人が気が付き、自分で対処する力を培うように支援している。	専門職（作業療法士・強度行動障害研修修了者）を配置していることから、専門的視点に立った質の高い療育を目指す。
2	様々な子ども達との集団活動を通して人との関わりを学ぶ場を作っている。 相手の気持ちを察する「目」、相手の話を素直に聞く「耳」、相手に上手く伝える能力の向上および思い通りにならないことにも気持ちの柔軟な切り替えが身につくよう心掛けている。	子ども達と一緒に活動する心地よさを見つけ、子ども同士がお互いに助け合う、認め合う、高め合うことを学ぶ場を提供します。 優しさと人とのつながりを大切にできるように、「ありがとう」の感謝の言葉や「どうぞ」の譲り合いの言葉がたくさん飛び交う場を作ります。	他の放課後等デイサービス、放課後児童クラブ、児童館など、様々な子ども達と交流する機会を設け、人との関わりの広がりを図る。
3	今後の進路に向けて、個々のご家族の状況を踏まえた情報の提供と相談サポートを行っている。	今後の進路に向けて本人の意志と家族の意向を勘案できる相談支援と状況に応じた準備支援を行います。	専門担当医、相談支援センター、学校の話と直接聞く機会を設けます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの考えを尊重し過ぎ、活動中の自由度が高い面がある。	決められた活動プログラムに従って取り組む受け身の活動ではなく、子どもの「こうしてみたい」気持ちを尊重し、チャレンジして学ぶ場を提供している。 一方で子どもの中には危なげなことを考えることもあり、節度をわきまえた分別のある行動には課題もある。	個々の子どもの症状や能力を十分踏まえ、保護者さまとの了承を得ながら無理のない範囲で、「能動的行動」と節度をわきまえた「分別ある行動」のステップアップを図る。
2	利用日数の追加要望、新たなご利用希望の声に十分お応えしているとは必ずしもいえない。	おもちゃ箱こがねいの他の事業所（おもちゃ箱なかまち、おもちゃ箱こだいら、おもちゃ箱しんこがねい）と連携できるように運営体制の改善を図る。	他の放課後等デイサービス、相談支援センター、放課後児童クラブなどと連携してご要望にお応えできるように努めたい。
3			